キラットさん

BE AMBITIOUS

大館ホテヤ学園 大館調理師専門学校

松田 真紀さん

「何としてでも今年一年で、絶対に調理師の資格を取りたいんです」と手に握りこぶしを作って力強くこたえてくれたのは、今回ご紹介する松田真紀さん。「調理師の免許を取って、建設中の老人福祉総合エリアでおじいちゃんやおばあちゃんのためにおいしい料理を作ってあげたい」と、少しはにかみながらも、背筋をピンと伸ばしてはきはき話す姿は、目指すものをしっかりと持ってヤル気に満ちていました。

松田さんが調理師になりたいと思うようになったのは、高校に入学してからだそうです。高校時代は、二井田にある自宅から小坂高校へ通学するのにちょうどよい時間の交通機関がなかったため、部活動ができず、まっすぐ帰宅していました。その分早く家に帰って、もともと好きでよく手伝っていたごはんの支度をしながらふと、これが自分にあった職業なのではないかと考えるようになりました。大館が好きで、家族を大切にしたいということもあって、高校卒業後すぐに地元の調理師専門学校に入学することに決めたそうです。

得意料理をたずねると、野菜、特にハクサイを使ったいためものをよく作るとか。家族の評判も上々で、おいしいという家族の笑顔が松田さんのパワーの源にもなっているのかもしれません。これからは和食・洋食・中華すべてのジャンルを勉強していくわけですが、老人のための食事を作っていきたいのでおのずと和食メニューに力が入ります。

休日は家で米を作っている祖父母の手伝いをしたり、友達とドライブをしたりして過ごします。小学校の運動会ではいつも百メートル走一位、中学校でもテニス部で活躍していたとあって、いつもじっとせずに動き回っているのが彼女の性格にあっているようです。

「調理師の免許を取ったら、まず家族に自分の料理を味わってもらいたい」と笑顔で話してくれた松田さんでしたが、卒業してからも多くのひとの心を豊かにしてくれる、愛情こもった料理を作ってくれることでしょう。

私の本棚

中央図書館新着図書

『ブレイン・ピープル アーミッシュの世界』

栗原 紀子 著
愛育社

最先端技術国アメリカにありながら、大地を手で耕し、馬車とランプの生活を続ける人たちがいる。家族のきずなに守られ、豊かな自然とともに生きる、アメリカで最も幸福な人々アーミッシュ。そんな私たちの見知らぬ世界が女性らしいこまやかな取材文と、美しい写真でつづられている。

一般書

◇阿部定正伝（堀ノ内雅一）◇さんじらこ（芦原すなお）◇存在証明（内田康夫）◇すいかの匂い（江國香織）◇美神（小池真理子）◇地を吸う花嫁（赤川次郎）◇スクランブル（若竹七海）◇神々の山嶺上下（夢枕獏）◇旅の紙芝居（椎名誠）◇早春その他（藤沢周平）◇謎の母（久世光彦）◇踊って歌って大合戦（林真理子）◇寂聴おしゃべり草子（瀬戸内寂聴）◇ナースの気持ち（清水みよこ）◇付添人のうた（坂本美智子）◇女は何度でもよみがえる（山崎洋子）◇時を越える旅（平山郁夫）◇生きていてよかった（相田みつを）◇長野オリンピック騒動記（相川俊英）◇ホースケがいた福池泡介傑作選（東海林さだお編）◇花岡事件と中国人（野添憲治）◇ほんとうの徳川慶喜（加来耕三）◇第18回オリンピック冬期競技大会1998／長野（ベースボール・マガジン社編）◇光の王妃アンケセナーメン（クリスチャン・ジャック）◇ロマンス（エド・マクベイン）◇なぜ私は「私」なのか（ウィニフレッド・ギャラハー）◇ダイオキシン　ゼロへの挑戦（駒橋徐）ほか

児童書

◇ますだくんとまいごのみほちゃん（武田美穂）◇クレヨン王国新一二か月の旅（福永令三）◇むらさき先生のふしぎなスカート（北村想）◇うらない（マドモアゼル・愛）◇ちぎってきってはりえあそび（早坂忠之他）ほか

5月のテーマ関連図書コーナー・・・・・・・・・『アウトドア』

5月の親子読み聞かせ会・・・1日（毎月第一金曜日）14時30分から

5月の中央図書館の休館日・・・・・3日、4日、5日、17日、28日